

第8回地域医療構想及び医師確保計画に関するWGへの意見等

全国衛生部長会
岩手県保健福祉部長 野原 勝

今回の議題である、目標医師数や地域枠及び地元出身者枠などについて示された論点の方向性について異論はありませんが、何点か意見を述べさせていただきます。

目標医師数について

(二次医療圏における目標医師数の設定について)

- 医師確保対策については、地域医療の確保の視点だけではなく、人口減少対策など幅広い政策的な側面も持っていることから、医師確保計画の目標数の設定に当たっては、その理由を計画に記載することにより、圏域の目標医師数については、県全体の目標医師数の範囲内で都道府県が柔軟に設定することが可能になるようお願いしたい。

地域枠及び地元出身者枠について

- 恒久定員内への地域枠や地元出身者枠の設定については、それぞれの大学の事情により対応が難しいことも想定されることから、都道府県と大学の調整に国が積極的に関与するとともに、大学への財政的な支援の拡充などについても図っていただきたい。

その他について

- 医療介護総合確保基金を活用しての寄附講座の設置や、女性医師の子育て後の復職支援や就労環境改善等の取組の推進にあたっては、医療介護総合確保基金の都道府県への十分な配分をお願いしたい。
- 医師偏在の解消は、都道府県のみでの努力では限界があることから、国による一層の取組をお願いするとともに、例えば全国規模の医師の人材バンク設置など、医師が不足する地域において必要な人材の確保に繋がる取組について検討をお願いしたい。